

セフロキシサジン 100mg（力価）/g ドライシロップ

溶出試験 本品の表示量に従いセフロキシサジン（ $C_{16}H_{19}N_3O_5S \cdot 2H_2O$ ）約 100mg（力価）に対応する量を精密に量り、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 15 分後、溶出液 10mL 以上をとり、孔径 $0.8\mu m$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 5mL を除き、次のろ液 2mL を正確に量り、 $0.1mol/L$ 塩酸試液を加えて正確に 10mL とし、試料溶液とする。別に常用標準セフロキシサジン約 28mg（力価）に対応する量を精密に量り、 $0.1mol/L$ 塩酸試液に溶かし、正確に 100mL とする。この液 8mL を正確に量り、水 20mL を正確に加えた後、 $0.1mol/L$ 塩酸試液を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、吸光度測定法により試験を行い、波長 267nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする。

セフロキシサジン（ $C_{16}H_{19}N_3O_5S \cdot 2H_2O$ ）の表示力価に対する溶出率（%）

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 360$$

W_S ：常用標準セフロキシサジンの力価（mg）

W_T ：セフロキシサジンドライシロップの秤取量（g）

C ：1g 中のセフロキシサジン（ $C_{16}H_{19}N_3O_5S \cdot 2H_2O$ ）の表示力価（mg）

常用標準セフロキシサジン 日本抗生物質医薬品基準を準用する。

セフロキサジン 250mg (力価) /g ドライシロップ

溶出試験 本品の表示量に従いセフロキサジン ($C_{16}H_{19}N_3O_5S \cdot 2H_2O$) 約 100mg に対応する量を精密に量り、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 15 分後、溶出液 10mL 以上をとり、孔径 $0.8\mu m$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 5mL を除き、次のろ液 2mL を正確に量り、0.1mol/L 塩酸試液を加えて正確に 10mL とし、試料溶液とする。別に常用標準セフロキサジン約 28mg (力価) に対応する量を精密に量り、0.1mol/L 塩酸試液に溶かし、正確に 100mL とする。この液 8mL を正確に量り、水 20mL を正確に加えた後、0.1mol/L 塩酸試液を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、吸光度測定法により試験を行い、波長 267nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品 15 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする。

セフロキサジン ($C_{16}H_{19}N_3O_5S \cdot 2H_2O$) の表示力価に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 360$$

W_S : 常用標準セフロキサジンの力価(mg)

W_T : セフロキサジンドライシロップの秤取量(g)

C : 1g 中のセフロキサジン ($C_{16}H_{19}N_3O_5S \cdot 2H_2O$) の表示力価(mg)

常用標準セフロキサジン 日本抗生物質医薬品基準を準用する。